

くまむら

議会だより

2013.7.25

72号



元気に登校！

渡小学校では、学校応援団や地域の人の見守りで児童が安全に登校しています。

目次

6月の定例議会	2～3
各施設の決算状況	4
一般質問	5～9
熱戦！中体連大会	10

球磨村世帯数 1,587世帯
人口 4,233人 男：1,994人 女：2,239人
(平成25年6月30日現在)

こんなことが決まりました 災害復旧事業などに45,908千円 25年度一般会計補正予算

6月 定例会



着々と復旧工事が進む神瀬一区の内谷川

道州制導入反対に関する 意見書を全会一致で可決

6月定例会は、6月11日から13日までの3日間の日程で開催されました。予算関係では一般会計、特別会計の専決処分に係る報告・承認6件、補正予算2件、条例関係では税条例の一部改正等3件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。人事案件では副村長に内布利人氏（前総務企画課長）、固定資産評価員に永椎龍一氏を全会一致で選任し、人権擁護委員に板崎寿一氏を推薦しました。

一般質問では、田代利一議員、高澤康成議員、多武義治議員、舟戸治生議員の4人が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えをたえました。

また、議員発議による「道州制導入反対に関する意見書」も原案のとおり可決し、総理大臣はじめ関係の各大臣に提出することにしました。

予算

25年度一般会計（補正予算）	24年度国民健康保険（専決処分）
○補正額 45,908千円	○補正額 7,872千円
○総額 2,955,908千円	○総額 605,481千円
主なものは、村道立野線改良工事、神瀬地区の内谷川と川内川の土砂除去等の工事、介護予防事業による公民館等のバリアフリー改修工事、旧高沢小学校の給食室とプール解体工事等です。	国庫納付金を3月29日まで払う必要があったため、保険給付費等で不要になった予算を減額して、国庫納付金分として諸出金を増額したものです。
25年度簡易水道（補正予算）	24年度介護保険（専決処分）
○補正額 3,013千円	○補正額 0千円
○総額 59,013千円	○総額 671,671千円
主なものは、三ヶ浦地区簡易水道のテレメーター装置更新の工事費です。	国庫納付金を3月29日まで支払う必要があったため、地域支援事業で不用になった予算を国庫納付金分として諸出金を増額したものです。
24年度一般会計（専決処分）	
○補正額 △39,194千円	
○総額 3,733,414千円	
主なものは、24年発生の補助災害復旧事業で、実績額に	

専決処分 地方公共団体の議会の権限に属する事項を所定の要件の下で、議会の議決を経ることなく決することのできる処分。

24年度一般会計繰越明許費
○総額 405,167千円

24年度の繰越事業で主なものは、24年発生公共土木施設災害復旧事業、同年発生農林施設災害復旧事業、球磨中学校グラウンド改修事業、林道川島大岩線改良事業等14件です。



完全復旧が望まれる村道渡・大槻線

人事

○球磨村副村長の選任意

前副村長の退任（3月31日）に伴い、内布利人氏が選任同意されました。

内布副村長は、総務企画課長を最後に平成24年3月末に定年退職をされていました。

○球磨村固定資産評価員の選任意

前税務課長の退職（3月31日）に伴い、現税務課長の永椎龍一氏が選任同意されました。

○人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期満了（9月30日）に伴い、板崎寿一

条例

氏が推薦（再任）されました。

○球磨村税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴うもの。旧緑資源機構関係事業の廃止に伴って、条文の整理等がなされました。

○球磨村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴うもの。後期高齢者医療制度における基準額判定期間等の改正が行われました。

○球磨村一般職員の給与条例の一部改正

球磨村職員組合の結成に伴うもの。組合の組織運営費等を職員の給与から控除するた

意見書

め条例に規定したものです。

○道州制導入反対に関する意見書

議員発議により、意見書を国に提出することにしました。道州制導入に向けた「道州制推進基本法」が国会に提出されようとしていたため反対意見書を提出しました。

副村長にインタビュー



内布利人副村長に就任されての抱負や議会に望まれることなどをインタビューしました。



―抱負をお聞かせください

わたしの職務は柳詰正治村長を補佐し、村長が掲げる政策や企画を職員とともに実現していくことであります。力不足は十分承知していますが、しっかりと職務に専念し、村政の進展に努力していきたいと考えています。どうぞよろしく願います。

―議会に望まれることは？

よく車の両輪に例えられますが、執行機関と議会は独立・対等の関係にあります。お互いに緊張関係をたもちな

から協力して球磨村の振興発展に取り組むことができればと考えています。

―趣味とか、現在熱中されていることはありますか

趣味は特にありません。在職中にも米作りはしていましたが、昨年春に退職してからこれまでできなかった野菜作りに挑戦しました。10aの畑に果樹やいろいろな野菜を作付しましたが、なかなか楽しくて充実した1年でした。これからぜひ続けたいですね。

地方自治の衰退は明らか

反対意見書の内容

道州制は、都道府県を廃止し10程度の道と州に再編するといふもので、基礎自治体と道州制の二層制は、小規模町村の存在を否定し、国策として推進されてきた平成の大合併に続き、事務権限の受け皿という名目のもと、事実上の強制合併を余儀なくされるも

のであり、住民と行政の距離が遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかです。

このようなことから、住民自治の推進に逆行し、町村の存在を否定する道州制の導入には断固として反対します。

「かわせみ」・「さんがうら」・「せせらぎ」の決算状況



ふるさと振興公社「かわせみ」

収入	126,652,679円
経費	132,114,671円
損失	5,461,992円

執行部より、平成24年度の村が関係する、球磨村ふるさと振興公社「かわせみ」、田舎の体験交流館「さんがうら」、高齢者福祉センター「せせらぎ」の決算報告がありました。内容は次のとおりです。



高齢者福祉センター「せせらぎ」

収入	148,823,927円
経費	145,964,760円
収益	2,859,167円

※収入には、村からの補助金17,000,000円を含みます。



田舎の体験交流館「さんがうら」

収入	13,126,176円
経費	12,917,281円
収益	208,895円

※収入には、村からの運営費7,021,000円を含みます。

稼げる農業を目指したいとのことだが

〔答〕6次産業化を目指す団体に支援していきたい

田代 利一議員

- 一、所得向上の取り組みについて
- 二、行政区再編による報酬について
- 三、県道人吉水俣線の未開通部分の状況は
- 四、連絡道の改良について

所得向上の取り組みは

田代議員

〓 村長は就任時より、6次産業化に取り組みながら稼げる農業を目指したいとのことの方針だ。就任から1年、取り組みの成果は。

柳詰村長

〓 6次産業化に向けた加工機械や施設整備の補助を行うようにした。また、6次産業化を進めることによって、耕作放棄地の増加に歯止めがかかるし、所得の向上も図られる。これから、6次産業化を目指す団体があれば支援していきたい。

田代議員

〓 4月に野菜の栽培講習会があった。しかし、参加者はJAの職員が2人と、役場職員が2人の4人しか集まらなかった。もっと参加者を増やす工夫はできないか。

柳詰村長

〓 村としても文書を送付するだけで、参加者を増やす努力を

していないと思う。興味がある人は参加されると思うので、周知の方法について職員にも指導していきたい。

田代議員

〓 高齢化が進む本村で、高齢者が介護予防を学びながら、野菜づくりなどできないかと考えている。自分でつくった野菜を販売することで、生きがいになり元気な高齢者が増えるのではないかと思う。このことが、耕作放棄地の有効活用につながるかと考えているが。

柳詰村長

〓 農業者の高齢化と、後継者不足による農地の耕作放棄地対策が重要な課題となっている。新規就農者支援や営農指導にも力を入れ、農業者の所得向上につながる対策を進めたい。

田代議員

〓 去年、荳わさびを栽培した時、JAから営農指導に來られた。その方は、内容について詳しく、いいアドバイスをもらった。村長も、営農指導について力を入れると言われた。その取り組みについて説明を。

柳詰村長

〓 JAの方は、荳わさびの専門家だったと思う。今のところ、村で技術職を雇用するのも難し

い状況だ。職員が勉強して、JAの専門家と一緒に頑張って営農指導ができる状況をつくりたい。

田代議員

〓 村内で、新規就農者は何人いるのか。

宮本産業振興課長

〓 平成24年度で3人の方が就農されている。就農者には、経営が安定するまでの5年間、国から補助金が支給される。今後、この制度を利用しながら就農者を支援する。

行政区再編の問題点

田代議員

〓 平成20年度に行政改革の一環として、行政区の再編が行われた。地区によっては、高齢化で班長を選ぶのにも苦労している状況だ。村からの運営助成金を班長手当としていところもあるが、再編前の区長報酬との差は大きく、その差額を調整するため地区負担が増えている状況だが。

柳詰村長

〓 各班に対する運営助成金は、1班当り3万円と1戸当り1千円を助成している。

部総務企画課長

〓 多くの班では、

村から支給している運営助成金を班長手当としている。また、地区会計からも支払っている班が多く、地区負担が増えている。今後の課題として、地区担当職員に各班の情報を集めて、どういったことが問題なのか。把握しながら検討していく。

県道未開通区間の状況は

田代議員

〓 人吉市大柿地区から三ヶ浦鵜口地区までの県道未開通区間の、現在の状況はどうなっているのか。

柳詰村長

〓 人吉市の大柿と小柿の町内会長より、村内では13区長と関係する班長より未開通区間の建設に関する要望書が来ている。災害時の迂回路として重要な路線で、今後も県に対し要望活動を続けていく。

(質問時間60分)



現在21行政区で行われている区長会

生産、加工、販売のポイントを重視した6次産業化への取り組みは

〔答〕 6次産業化が雇用の場、農産物の有効活用所得向上につながれば積極的に支援する

毎床 文博議員

- 一、共助の村づくりについて
- 二、林業の活性化について
- 三、農業振興と6次産業化について

共助の村づくり

毎床議員 〓 村長は、7つのマニ

フェストを掲げ、本年度の施政方針にも示されている。中でも若い世代が誇りをもてる村づくりとして、雇用促進による少子高齢化対策は、村の活性化に最も期待されるとうであり、関連した取り組みについて伺う。

また、共助の村づくりとして、地域づくりの推進を強調されており、元気な地域づくりには一人ひとりの力と意識高揚が大切である。しかし、地域の高齢化により機能が低下している中、行政支援によるリーダーの育成が望まれると思うが。

柳詰村長 〓 村民が心豊かに過ごせる社会の実現を目指して、絆を大切に、地域住民の連携を密にし、防災活動、福祉活動、奉仕活動などを通じて、自分たちの村は自分たちでつ

くる共助の精神とリーダーの育成を推進する。

毎床議員

〓 老人会は、後継者の加入が少なく会員も減少してきている。また、ふれあいサロンの参加者も減少しているが、何か活性化対策はあるのか。

瓜生住民福祉課長

〓 老人会員の減少は自然減と考えられる。今後は、高齢者大学等を実施し、若い後継者に興味のある環境づくりに努める。ふれあいサロンは、高齢による入院や介護認定等で参加者が減少している。本年度より元気な高齢者の参加も呼びかけている。

林業活性化の取り組みは

毎床議員

〓 次に、マニフェストで林業の活性化対策として、村有林を活用し、伐採、植林を長期的に行い、安定した雇用がでないか。また、農林業の振興は村民所得の向上につながり、若い世代が誇りを持つる村づくりを目指すところがある。

柳詰村長

〓 間伐材の搬出補助や交付金事業等、各種補助事業の継続、さらに、作業道や林道を整備して森

林整備を進める。また、今年より、村有林の法正林化に取り組み、計画的な伐採、造林を行うことにより、若者の雇用の場と所得の向上と一番必要としている林業技術者技能の取得を目指し、定住促進につなげていきたい。

6次産業化の取り組みは

毎床議員

〓 6次産業化は、地域振興の救世主のように連日新聞紙上をにぎわしている。しかし、単なる6次化総合論での推進は厳しく、生産、加工、販売のポイントを重視した商品化により事業効果を高めることが重要である。村長は、耕作放棄地を利用し、商工会と連携して各販売までの6次産業化に取り組むとあるが、その対策は。

柳詰村長

〓 施設等の整備については、去年9月に条例化をして補助ができるようにしたが、個人で生産から販売まで行うには限界がある。今後6次産業化を進めるにあたっては、雇用の場が生まれ、農産物が有効に活用され、所得向上につながれば積極的に支援していく。

毎床議員

〓 6次産業化というと、加工のみを主体に話が動いているようだが、生産面を第一に考えると、地産ブランド商品に加工商材を結びつけることにより、商品価値の高い販売ができる。また、加工面を中心に考えると商品の開発が第一で、それに必要な作物を定着することで生産価値を高める。最終的には付加価値の高い商品を安定的に販売することにより商品が活きると思うが。

柳詰村長

〓 販売については、三ヶ浦の施設を利用して発信地をつくりたい。そこから加工製品の発信ができればと思う。6次産業化の施設として、熊本県でも44ヶ所が認定されたが、ハードルが高く専門的な知識も必要である。村としても小さいものから始めて、補助事業も活用した6次産業化を進めたい。

(質問時間50分)



村内の林業の拠点となっている森林組合

災害における迂回路の状況は

〔答〕安全な迂回路と点検に努める

高澤 康成 議員

一、子ども・子育て関連三法について
二、災害における迂回路の現状

子ども・子育て関連三法について

高澤議員

＝平成27年度施行予定の

子ども・子育て関連三法は、保護者が子育てについて第一義的責任を有するという基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育・地域の子供・子育て支援を総合的に推進するものだ。これまでの子育てに対するそれぞれの制度において考え方や推進方法、あるいは、財源が一元化されることは、これからの子育てに対する保育のあり方や方向性を国・市町村や子育て世代とともに同じ認識のもと、子育てができるということは素晴らしい事と思う。

今後準備段階として、平成25年から26年度にかけ市町村で取組状況の把握、評価。現状やニーズ調査等を行い事業計画を策定しなければならぬように思う。

そのためには、子育て世代がこの

三法について深く理解したうえでアンケートや世代の求める子育て支援の調査をしなければ、事業計画そのものがこれまでと変わらぬものとなってしまう、若ものが誇りを持ち安心して子育てできる村にはならないと思っている。

そこで、子ども・子育て三法における当村の事業計画のタイムスケジュールと、今後起こり得るとされる子育て世代の実質的負担への軽減措置への考えを伺う。

柳詰村長

＝今後の村の対応として、子ども子育て会議を設置し、地域の保育需要等をふまえた子ども・子育て支援事業計画を作成する事となり、村民の皆様のニーズを十分に把握するとともに、子育て当事者や子育て支援に携わっている方などご意見を聞きながら進めていきたい。

また、子育て世代における軽減措置について国より詳細に示された後、軽減等検討していく。

災害時の迂回路の現状は

高澤議員

＝昨年の災害で決壊した道路などを、現在懸命に復旧作業が進められている状況の中、工事期間の長期化による、住民の負担が多めで、かつ精神的な苦痛が生じているのも現状だ。

この災害を経験し、今後、孤立地域を解消すべく対策に迂回路の必要性は皆さん実感したのではないかと。

しかし現状をみると、球磨村における迂回路は構造上本当に迂回路としての機能が傾斜や幅員など、安全性に疑問が残るような気がしている。そこで、現在の迂回路の現状と山間部の現状について、行政の認識と今後の取組について伺う。

柳詰村長

＝今回の災害において、本当に通行止めに遭われた高沢校区・大槻校区の皆様には大変ご迷惑をおかけしたと思っている。迂回路については、十分に対策を整えなければならぬと思っている。現在迂回路として利用する場合、村道・県

道・林道等に対応できると考えているが、農道や森林作業道は、地形や利用目的に応じた道路計画で整備されているため、幅員が狭く、通行が厳しい状況だ。幅員改良の希望があったら、役場にご相談頂きたい。

部総務企画課長

＝森林作業道等、迂回路として利用せざるを得ない状況のなか、安全に迂回できるようにカーブミラーの設置をさせていただいた。非常事態であればヘリポートであつたり関係機関と十分協議しながら対応しなければならないと思っており、日頃より点検を怠らないよう努めなければならないと感じている。

(質問時間50分)



高沢地域の迂回路となっている林道大瀬線

この1年の率直な所感を

〔答〕真っ直ぐに、ひたむきに全力で通過してきた。

多武 義治 議員

一、村長就任して1年が経過しての所感
二、災害復旧について

この1年の所感は

多武議員

〓村長に就任して1年が経過した。率直な所感を。

柳詰村長

〓去年7月に大規模な災害が発生した。人的被害がなかったことが、不幸中の幸いだった。新たな防災機能の充実と、自主防災機能の強化を図る必要性を感じた。また、毎年上昇する社会保障費も深刻な問題だ。医療費と介護給付費を抑制する取り組みを重要政策として行っていきたい。その他、「かわせみ」や「さんがうら」の経営状況も厳しい。職員と知恵を出し合って、経営の改善に取り組みなければならぬ。

多武議員

〓村長自身で、この1年間に對しての点数をつけるとすれば何点か。

柳詰村長

〓真っ直ぐに、ひたむきに全力で通過してきた。「光陰矢のごとし」の1年で、点数をつける余裕もない。

裕もない。

多武議員

〓私は、よくやっていると思う。就任当初7つのマニフェストを掲げ、村長給与の20%カットをすぐ実行し、まだ実行していないものは、今年の施政方針にその内容が反映されている。村長就任以前のことはよくわからないが、就任以後は政策的にぶれていないと感じている。7つのマニフェストの中では、共助の村づくりを強調されていたが。

柳詰村長

〓地域の人間関係が気薄になっており、自分たちの地域では自分たちでつくっていくことの想いで、共助の村づくりを一番に掲げた。

少子化対策について

多武議員

〓5月に球磨中の運動会を見学し、生徒数の減少に驚いた。高校再編の話が盛り上がっているが、将来、市町村を超えた中学校再編の話が出てくるのではないかと心配している。本村の少子化対策は、保育料など他町村と比べて充実していると思うが、さらに中学生までの医療費無料化の考えはないか。0歳から15歳までの、中学生が示める医療費割合が7%前後で、大きな財政負担にはならないと考えているが。

柳詰村長

〓小学生までの医療費の無料化を実施したところ、医療費が高騰している。しかし、若者の定住促進のためには必要な政策だと思っている。検討はしてみる。

産交バス廃止の後は

多武議員

〓現在の産交バスを廃止して、村営バスに代える交通体系の見直しが進められている。利用者から、どうなるのかという不安の声が広がっているが、話はどこまで進んでいるのか。

部総務企画課長

〓産交バスの廃止後は、村営バスの運行になる。そこで、今の路線が村民にとってもサービスの低下にならないと考えている。ただ村営バスでは、人吉への乗り入れができないので、産交バスに運行の委託をしなければいけない状況だ。また、この村営バス路線に組み合わせて、福祉バスを週1便から3便に増便する計画である。早くても今年の12月頃を予定している。

多武議員

〓役場に來られる村民から、職員の挨拶のことをよく言われる。何かに熱中している時は、気づかないこともあると思う。役場に來られる人のほとんどが、住民票や印鑑証明などを取りに來られている。住民福祉課を入口に移動させてはどうか。



就任1年が経過した柳詰村長

〓今、言われたことはわかった。

柳詰村長

多武議員

〓副村長が、不在となっているが、どうするのか。

柳詰村長

〓置くようにする。

災害復旧について

多武議員

〓次に、災害復旧について、村道神瀬大岩間で土砂流出が最も多かった川原谷の工事予定について伺う。

柳詰村長

〓住民の安全確保を図るため、整備の必要があるので計画的に進めていく。

(質問時間50分)

村民が自主避難するための洪水ハザードマップ作成は

〔答〕今年、渡地区をモデルに地域住民が主体となって作成する

舟戸 治生 議員

- 一、安心安全で快適な暮らしの環境づくりについて
- 二、豊かで活力に満ちた産業づくりについて

小川周辺の河川整備は

舟戸議員

〓現在、熊本県で小川川周辺の水防対策として、築堤工事が実施されている。工事にあたっては、住民説明会が何回あったと思う。国道のかさ上げや、消防道路の取りつけなど説明会の内容を教えてほしい。

柳詰村長

〓小川川の河川改修工事については、平成18年4月、平成19年の1月と8月の3回にわたり説明会が実施されている。この事業説明会で、地域の人に説明してあるのが、小川川の川幅を広げることや兩岸に堤防を築くこと、村道橋のかげかえを行うことや整備区間を国道橋付近から河川の水がたまる区間までとするこの説明があっている。国道橋については、まだいろいろな問

題があり、実施までには時間を要する見込みだ。また、旧小川橋にあった消防道路は、説明会で右岸に設けるとしているが、実施にあたり地域の人の意見を聞くことや、事業効果が速やかにあらわれるよう協力をお願いしたい。

舟戸議員

〓かさ上げが進まない中、現在の小川橋には歩道もない状況だ。地元住民やくま川下り発船場に行かれる観光客など危険にさらされている。どうにかならないかとの声があがっているが。

柳詰村長

〓そのような声があがっているのであれば、国県に対し要望活動が続けていく。

渡地域の洪水対策は

舟戸議員

〓渡地域の洪水対策を考えた場合、村長に就任してからすぐに地域住民の話を聞く機会をつくるべきだった。そういった優しさがあってもいいと思うが。

柳詰村長

〓それぞれの地域の声を聞くことは、議員時代からやってい

た。私は、優しさは人一倍あるつもりで、今までもそのような人生を歩んできた。

舟戸議員

〓国土交通省は、80年に一度ある大雨対策から、20年に一度の大雨対策に変わりつつあると思うが。

柳詰村長

〓今後、国と県には、そのようなことでは納得できないということを言っていきたい。

舟戸議員

〓洪水時に、村民が自主的に避難するための洪水ハザードマップは作成してあるのか。

柳詰村長

〓平成19年に作った球磨村防災マップに村全体の浸水危険箇所等は示してあるが、洪水だけのものは、まだ作っていない。なお、地域の危険箇所を地域住民で作るマイハザードマップについては、今年、渡地区をモデルに作成することになっている。

舟戸議員

〓災害時における応急対策の準備はどのようになっているのか。

柳詰村長

〓応急的な防災を目的として、各消防団では、これまでの経

験をもとに土のうの準備をしている。また、内水対策として、村管理の排水ポンプ稼働がスムーズにできるよう、現在、舟戸地区に設置しているポンプを早急に点検を行い、いつでも稼働できる体制をとっていく。

6次産業化の取り組みは

舟戸議員

〓村長は、耕作放棄地に農産物を栽培し、稼げる農業を目指し、販売まで生産者が行う6次産業化に取り組みたいとのことだが。

柳詰村長

〓私の6次産業化に向けた構想は、生産された農産物に付加価値をつけて、農家の所得向上を図らなければならないことだ。

(質問時間50分)



歩道が設置されていない国道の小川橋

「熱戦・接戦に感動！ 郡市夏季中体連大会」

球磨中学校 校長 田代 修

6月29日(土)～7月1日(月)に郡市夏季中体連大会が行われ、本校からは野球部・ソフトボール部・男女ソフトテニス部・バレーボール部・剣道部が出場し、熱戦を繰り広げました。週末からの雨で屋外競技が順延となりましたが、無事に大会が終了しました。各部とも本校の代表として堂々とした態度で競技し、大変立派でした。

結果は、ソフトボール部が人吉二中に13対0、水上市中に7対0、決勝戦では山江中と対戦し、7回まで3対3の同点でタイブレークとなり、5対6の接戦で準優勝でした。野球部は、人吉



二中と対戦し惜しくも敗退。女子ソフトテニス部は、予選リーグを1位で上がりましたが、決勝トーナメントで湯前中に負けて3位。男子ソフトテニス部・バレーボール部・剣道部は、惜しくも予選リーグで敗退しました。

各部とも一戦一戦に「真剣勝負」で戦い、悔いのない結果だと思えます。試合で流した悔し涙を、今後の生活に活かして欲しいと願います。

なお、ソフトボール部は、今年から上位2チームが県大会に出場することができ、7月27日(土)・28日(日)に菊池市で行われる「県中体連」に出場します。応援よろしく願います。

編集後記

今年から、「放課後こども教室」を利用して小学生に囲碁を教えています。現在では、東京大学など多くの大学でも、囲碁を授業として行っているそうです。私は、中学生時代に囲碁が得意な担任の影響を多分に受けました。以来、趣味でやっていますが、勝負は広い局面で何が大切かに気づいた方が勝つようです。

こども達には、「自分で考え判断する力」を養うことや、「相手の気持ちを考える習慣」が身につけばと思っています。

(多武 義治)

広報委員長 多武 義治
広報副委員長 高澤 康成
広報委員 毎床 文博
広報委員 嶽本 孝司



あっ！地藏さんと写っているのは供えてあった焼酎を飲んで(?) いい気分になったタヌキか。